

令和3年度 西東京市立学校 学校経営計画

学校名	西東京市立柳沢中学校	校長名	勝見 俊也
-----	------------	-----	-------

学校教育目標

変化する社会の中で、学校教育を通じてよりよい社会を創るため、以下のような目標を設定する。

- 広い視野をもち、勉学に励む人間 「問題発見・解決能力」
- 思いやりのある人間 「人間関係形成力」
- 心身ともに健康な人間 「豊かな人生を実現させる力」

学校の特徴

- 1 50年の伝統に培われた地域からの大きい期待と信頼。
- 2 「光る個性 柔らかな感性を育む 伸びやかな学校」としての校風。
- 3 小さな学校規模の利点を最大限に活かした、個別支援教育とリーダー力の育成。
- 4 数学科少人数習熟度別授業、英語科少人数コミュニケーション能力向上授業を基軸とした、個々の生徒の学習状況に応じた、きめ細やかな教科指導。
- 5 「協調性・信頼性・自主性」の精神を尊重した、生徒主体による行事の充実。
- 6 隣接小学校との一貫指導による堅実な教科・生活指導の連携。
- 7 P T A・地域・関係諸機関等との行動連携・双方互惠関係の充実。

目指す学校像 (学校像、児童・生徒像、教師像)

「最良・最高のスタンダード教育」の実現をめざして

【目指す学校像】

- ・生徒「一人一人が主役」となれる活動が溢れる学校。
- ・生徒が安心して学べる「生命尊重教育を基軸とした」信頼溢れる学校。
- ・生徒自ら学習に取り組み「学びの達成感」が溢れる学校。
- ・Team Yagisawa with smiles「チームとして笑顔が溢れる学校」。

【目指す生徒像】

- ・自己実現に向け、自ら考え進んでやりぬく心と体をもつ生徒。
- ・自他を尊重し、正しい判断に基づき責任を重んじ協力する生徒。
- ・伝統と文化を尊重し、自然と郷土を愛し、広く社会に貢献しようとする生徒。

【目指す教師像】

- ・生徒の心情に共感し理解し励まし支援する教師「生徒理解の深化」。
- ・分かりやすい授業を実践し、生徒の学ぶ意欲を引き出す教師「授業力」。
- ・生徒の豊かな感性と良さを引き出し、自己実現を支援する教師「理想の実現」。

学校経営の目標

- 1 一人一人の「生きる力」を育む、きめ細やかで温かい教育の推進。
- 2 一人一人の「自ら主体的に学ぶ力」を育む、確かな授業の推進。
- 3 一人一人の「豊かな人間性」を育む、質の高い自主的活動・体験学習の推進。
- 4 教えるプロとしての自覚(法令遵守)に基づき、業務効率化実現を基軸とした働き方改革の実現による「活力溢れる教職員集団」の構築。
- 5 学校・保護者・地域が三位一体となった「行動連携」「双方互惠関係」の構築。

具体的方策 (短期経営目標を達成するための学校の具体的な取組)

- 1 一人一人の「生きる力」を育む、きめ細やかで温かい教育の推進。
 - (1) 全教育活動を通して「命の尊さの教育」を推進し、生涯に渡り自他の生命・人権尊重を基軸とした「逞しく生きる力」を育成する。
 - (2) 小さな学校規模の利点を活かし生徒との心の触れ合いを充実させ、深い生徒理解を基軸とした、確かな教育を実践する。
 - (3) 生徒自らの判断力向上をめざすとともに、物事を最後までやり遂げる逞しさを持つ生徒を育成する。
 - (4) 特別支援教育部会・生活指導部会を基軸に、漏れのない「迅速で的確な情報把握」を行い、個々の生徒の課題に応じた確実な指導を推進する。
 - (5) 防災教育・環境整備・確認作業を徹底し、安全指導・安全教育の徹底を図る。
- 2 一人一人の「自ら主体的に学ぶ力」を育む、確かな授業の推進。
 - (1) 生涯に渡り、豊かな人生を切り開いていく為に「自ら主体的に学ぶ力」を育む。その具現化のために、GIGAスクールの取り組みを充実させ「主体的・対話的で深い学び」「情報活用教育」を充実させる。
 - (2) 質の高い最良の授業を目指し、「2021年度 海洋教育パイオニアスクールプログラム」<単元開発部門>の研究に取り組み、理科を中心とした授業改善・教材改善に取り組む。
 - (3) 新学習指導要領完全実施と授業力向上を目指し、本校独自の「シラバス」を全教科で作成する。「個々の生徒の学習力向上」「基礎・基本の定着」を図り、都立高等学校入学希望者の合格率100%を目指す。
 - (4) 学習遅延が心配される生徒へ、個別支援学習を実施し、「学習のつまずき」を改善し「基本的な学習スキルの定着」を図り、学習の途切れをゼロにする。
- 3 一人一人の「豊かな人間性」を育む、質の高い自主的活動・体験学習の推進。
 - (1) 全教育活動を通して人権教育・道徳教育を中心とした「心の教育」を充実させ、「豊かな人間性」「道徳的実践力」を育む。
 - (2) 生徒自ら作り上げる文化的・体育的行事を成功させ、達成感を育む。
 - (3) 伝統と文化を尊重し、自然と郷土を愛し「社会に貢献する心」の育成を図る。
- 4 教えるプロとしての自覚(法令遵守)に基づく「活力溢れる教職員組織」集団の構築。
 - (1) 全体の奉仕者である教育公務員という立場を自覚し、法令遵守を基軸とした「厳正な服務」を遂行し「服務事故違反ゼロ」を達成する。
 - (2) 「個々の生徒に寄り添い・支援する」あったか先生を遂行し、確かな信頼を確立する。
 - (3) 校務効率化実現に向け、業務のデータ化・統一化・慣例の見直し等を実施し、在勤時間15%の削減を目指す。
- 5 学校・保護者・地域が一体となった「行動連携」「双方互惠関係」の構築。

相互理解に基づいた健全育成推進に取り組み、PTA組織・地域・学校が、三位一体となった行動連携の充実を推進し、チーム柳沢を構築する。